

小泉八雲：「雪女」

□作者の小泉八雲はイギリス国籍の外国人だということを、

はじめて知りました。 / 知りませんでした。 / 以前読んだことがありました。 / まったく知りませんでした。

□雪女のお話は、 という記憶がありました /

童話で読んだことがあります。私は こわい / ふしぎな / 幻想的な / かなしい お話だと思いました。

□主人公の巳之吉は木こりで大吹雪の夜に雪女と出会います。もし私が巳之吉なら、目の前で雪女が老人を

凍えさせる様子を見たら、 だと思いました。

雪女に気に入られて、命は助かったけれど だと思いました。

□巳之吉は美しい「お雪」と結婚し、幸せになります。私は童話をすでに読んでるので、お雪が雪女で

あることはわかっているので、 だと思いました。

□でももし私が雪女であったら、 だと思いました。

なぜなら だからです。

□なぜ、雪女はお雪になって巳之吉の前にあらわれたのか、きっと

だからではないかと思います。

□この物語は、本当にこわい / ふしぎな / 幻想的な / かなしい お話だと思いました。

□巳之吉とお雪は 10 人の子どもを持つほどに長い間夫婦でいたのに、巳之吉が約束を破ったことですべてを

失ってしまいます。私は と思いました。

なぜ、巳之吉は約束が守れなかったのだろう、きっと

ではないかと思いました。

□「それは私、私、私でした。」と言ったお雪は、

な気持ちだったのではないかと思いました。

□お雪は最後に巳之吉を殺さなかった。きっと だからだと思います。

もし私なら するのに / 言ってやるのに と思いました。

□この物語を書いたのが日本人ではなく外国人だと言うことが、とてもおどろきました / ふしぎだなと思いました。

とても日本的で、読んでいて共感できる / 感動できる / なつかしいような / 違和感のない / 自然なお話でした。

□きっと小泉八雲は外国人でありながら、

ではないかと思いました。 / 考えました。